

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 17-028

PDCA	事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業	部課等名	福祉部 高齢介護課 高齢者福祉担当	担当	望月		
					内線等	369		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち						
		節： 第2節 地域福祉の推進						
		基本施策： 2. 高齢者福祉						
		単位施策： (1) 地域包括ケアシステムの構築						
	根拠法令等	個別施策： ①地域包括ケアシステムの体制整備						
対象・目的	加齢に伴い医療と介護の両方必要となる高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らしを人生最後まで続けることができるよう、医療・保健・介護・福祉の各関係機関の連携によって、包括的かつ継続的な在宅医療と介護が一体的に提供できるしくみづくりを目的とする。							
目的を達成するための手段・活動内容	①在宅医療・介護の課題抽出や支援体制の整備を進めるための在宅医療介護連携部会（年6回）と、多職種間の相互理解や情報共有を進めるために在宅ケア推進地域連絡協議会（年6回）を開催する。 ②市民を対象とした在宅医療・介護の普及啓発を推進するための講演会を開催する。 ③在宅医療・介護サポートセンターにて市民や医療・介護の関係者、地域包括支援センター等からの相談対応や在宅医療・介護の調整を行う。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位		
		①在宅医療・介護連携部会の開催回数	6	6	5	回		
		①在宅ケア推進地域連絡協議会の開催回数	6	6	9	回		
		③在宅医療普及啓発市民講演会	1	1	3	回		
		事業費	410	846	378	千円		
		人件費	3,173	7,495	6,210	千円		
		総事業費	3,583	8,341	6,588	千円		
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
		①会議1回あたりの事業費	21.5	23.5	17.9	千円		
	②講演会1回あたりの事業費	150.6	101.1	39.7	千円			
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位		
		①在宅ケア推進地域連絡協議会の参加人数	実績値	424	339	436	人	
			目標値	420	450	600		
		②在宅医療普及啓発講演会の参加数	実績値	260	168	121	人	
			目標値	500	500	500		
③在宅医療・介護サポートセンターの相談対応数		実績値		50	30	件		
		目標値		60	60			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性			
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地		ない
		C						
		・在宅ケア推進地域連絡協議会について、参加者数の減少や毎月開催は多く負担があると指摘もあった。 ・在宅医療普及啓発講演会は、半田病院ACP推進部会と協働で終末期の事前指示をテーマに、公民館等3か所で少人数制の体験講座を開催した。参加者数は目標値を下回ったが、医療スタッフから直接の学びの場は市民から好評であった。 ・サポートセンターの相談数は前年度よりも減少した。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進						
		・在宅ケア推進地域連絡協議会は、医療・介護の多職種が集まる利点を生かした内容を企画すること、各職能団体が実施する研修等と重複しないよう事務局会議を通じて関係機関と調整をする。 ・在宅医療普及啓発講演会は、市民が関心をもつ内容や講師の選定など工夫をする。また、市民にとって定期的な学びの場となるよう、開催時期を一定化するなど工夫をする。 ・サポートセンターの役割や機能について、市民や関係機関へのPRを強化する。						
	令和2年度の目標	成果指標	目標値			単位		
		①在宅ケア及び在宅医療の研修参加人数	300			人		
		②在宅・介護医療普及啓発市民講演会の参加数	500			人		
	③在宅医療・介護サポートセンターの対応実数	40			人			